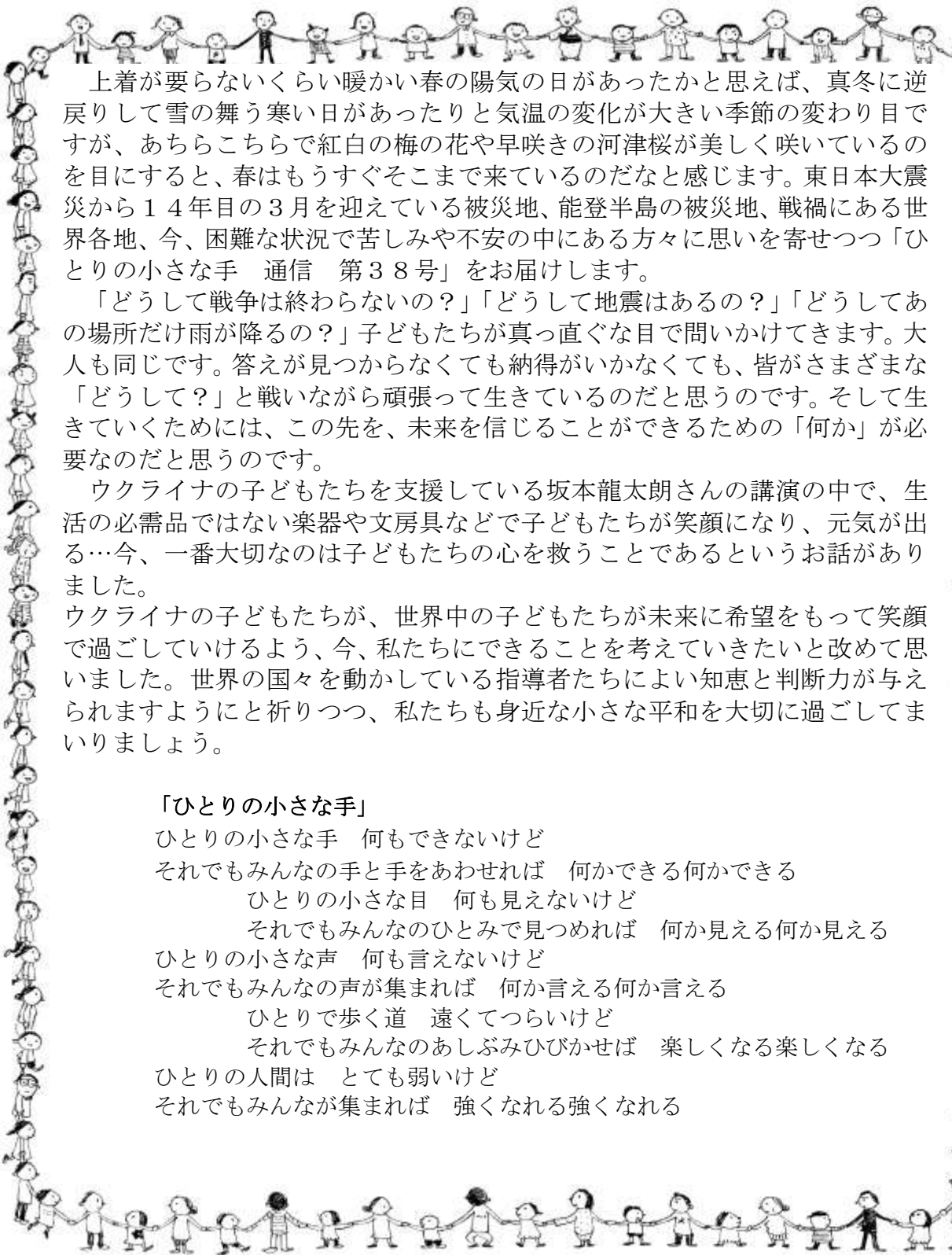


2025. 3. 9.



上着が要らないくらい暖かい春の陽気の日があったかと思えば、真冬に逆戻りして雪の舞う寒い日があったりと気温の変化が大きい季節の変わり目ですが、あちらこちらで紅白の梅の花や早咲きの河津桜が美しく咲いているのを目にすると、春はもうすぐそこまで来ているのだと感じます。東日本大震災から14年目の3月を迎えている被災地、能登半島の被災地、戦禍にある世界各地、今、困難な状況で苦しみや不安の中にある方々に思いを寄せつつ「ひとりの小さな手 通信 第38号」をお届けします。

「どうして戦争は終わらないの?」「どうして地震はあるの?」「どうしてあの場所だけ雨が降るの?」子どもたちが真っ直ぐな目で問いかけてきます。大人も同じです。答えが見つからなくても納得がいかなくても、皆がさまざまな「どうして?」と戦いながら頑張っているのだと思うのです。そして生きていくためには、この先を、未来を信じることができるための「何か」が必要なのだと思うのです。

ウクライナの子どもたちを支援している坂本龍太郎さんの講演の中で、生活の必需品ではない楽器や文房具などで子どもたちが笑顔になり、元気が出る…今、一番大切なのは子どもたちの心を救うことであるというお話がありました。

ウクライナの子どもたちが、世界中の子どもたちが未来に希望をもって笑顔で過ごしていけるよう、今、私たちにできることを考えていきたいと改めて思いました。世界の国々を動かしている指導者たちによい知恵と判断力が与えられますようにと祈りつつ、私たちも身近な小さな平和を大切に過ごしてまいりましょう。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど
それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
ひとりの小さな目 何も見えないけど
それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
ひとりの小さな声 何も言えないけど
それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
ひとりの人間は とても弱いけど
それでもみんなが集まれば 強くなれる強くなれる

◇活動報告

○コンサート、チャリティー、募金 等

・ 2024年11月23日（祝・土）

第26回 チャリティーコンサート

『幸せをひろげる すてきにクラシック』

出演 チェンバロ 渡邊 順生 氏
バイオリン 渡邊 慶子 氏
ソプラノ 渡邊有希子 氏



野毛山幼稚園第6回生あやめ組の卒業生でいらっしゃるチェンバロ奏者の渡邊順生さんと奥さまの慶子さん、卒園生保護者の有希子さんがファミリーで演奏をしてくださいました。素晴らしい音楽に心癒され、多くの皆さまと共に穏やかに被災地に心を寄せることができましたことに心より感謝いたします。コンサート終了後には、チェンバロという楽器を近くで見られる貴重な機会もいただき、皆さん興味深くご覧になっていました。

チケット代金	46,500円
手作り品バザー	66,740円
ケーキバザー	40,600円
募金	21,100円

経費を除くチケット代、バザー売上げ、募金は支援金として被災地にお届けし、残金は突発的な自然災害の支援など、今後の活動に大切に使用させていただきます。ご協力をいただき、ありがとうございました。

○被災地との交流、支援

・ 2024年 9月

黒坂黒太郎さんに託し、直接、能登の被災地へ 150,000円

・ 2025年 1月

能登の教育委員会を通して能登の被災地の方々へ 100,000円

・ 2025年 2月

ウクライナの子どもたちに 坂本龍太郎さんを通して100,000円

○ウクライナ人道支援報告会&コカリナミニコンサート

去る2月15日(土)にポーランド在住でウクライナの子どもたちへの支援を続けていらっしゃる坂本龍太郎さんをお迎えし、お話を伺うことができました。今までにも何度か音声でのメッセージを送っていただき皆さんにご紹介してきましたが、実際に熱い思いが込められた生の声で伝えていただいたウクライナの現状に私たちは大きな衝撃を受けました。実際に生活に必要なものだけではなく、傷ついた子どもたちの心に届くような支援を考え、行動していきたいと改めて思いました。坂本さんの講演の後には、黒坂黒太郎さんのミニコンサートでコカリナと歌の柔らかく優しい音色に包まれる幸せなひと時を過ごしました。お忙しい中、このような機会をくださった坂本さん、黒坂さんに心より感謝いたします。坂本さんのお話は下のQRコードから、是非お聴きください。

【来場された方より感想をいただきました】

先日は直接坂本さんのお話を聞かせて頂ける貴重な機会をありがとうございました。熱い思いがビンビンと伝わり『あたりまえ』の概念を改めて考え直すきっかけとなりました。現状を知らないということはなんて罪深いことだったかと反省の思いです。お話を伺ったことがきっかけとなり、もっと自分で調べたり想像力をふくらませたり、また家族や友人にも伝えようと思いました。本当にパワフルでエネルギッシュな熱い時間でした。

平和な日々感謝し、自分にできることを大切に重ねていこうと思いました。ありがとうございました。
(こども医療センター 保育士 吉野紀子)

今日はありがとうございました。坂本さんのお話を聞いて今の日本の平和を改めて実感しました。現地の子ども達が置かれている現状は間近にいらっしゃる坂本さんだからこそ伝えられる事だと思います。戦争が長期化になっていて、支援も細くなっている中、細いながらも日本からの支援は続いているというお話がありました。やはり一番怖いのはまだ戦争が続いているという認識が薄くなってきている事だと思います。坂本さんの講演で再度現地の子ども達に意識が飛びました。お伝えきれないほどの想いを熱くお伝えくださり心に響きました。これからも自分に出来ることで、支援していければと思っています。そしてコカリナの素晴らしい音色と演奏は聴く度に感動します。そしてとても美しい歌声に心癒されました。音楽は国境を越えますね。本当に素晴らしいです。皆さまのご活躍これからも応援させていただきます。本日は本当にありがとうございました。
(こども医療センターボランティア)



ウクライナの子どもたちへの支援金を直接お渡しすることができました…

2月15日(土)のウクライナ人道支援報告会
坂本龍太郎さんのお話



◇今後の予定

第27回 チャリティコンサート

平和への想いを 春の風にのせて

日時 2025年3月30日(日)
13時開場 13時30分開演



出演 高田ひろ子 さん (ピアノ)
北迫 真弥 さん (フルート)
野本香矢子 さん (ソプラノ)
たまゆら (コカリナ)

自然災害で被災された各地の方々や戦禍の中にある世界各地の人々、困難な状況にある全ての方々に心を寄せて祈りつつ、皆さまと共に豊かな春のひと時を過ごしたいと思っています。どうぞご予定くださいますようお願いいたします。



ミニバザー

手作り品
ケーキ

12時30分～

ぜひ、ご来場ください。

発行 2025年3月9日
ひとりの小さな手プロジェクト
事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地
野毛山キリストの教会・子どもの教会 野毛山幼稚園
根岸ひろみ 浅井知美 奈良亜樹子

